



埼玉県議会議員 小林てつや



NEWSレポート

<http://www.guts-kobayashi.com>

小林てつや

検索

小林てつや後援会事務所
TEL 048-532-3662
Eメール tetsuyak@ps.ksky.ne.jp
〒360-0843埼玉県熊谷市大字三ヶ尻2708



2009.2 VOL.7

「今」が「あの時」にならぬ様に

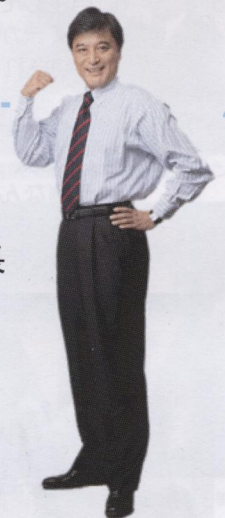
昨年の夏より、米国の住宅バブル(サブプライムローン)の崩壊により世界経済は巨額の損失が生じました。トヨタ自動車をはじめとする沢山の国内優良企業もその余波を受ける形で平成19年には過去最高の利益を生み出したのにもかかわらず、本年度はまさに天国から地獄、多くの自動車関連企業、家電関連企業等が赤字に転落し、目を覆いたくなるような世界同時不況の嵐を目の当たりにしています。

政府は75兆円の緊急予算を組みその嵐に対応していますが、私たちの生活にも影を落としています。しかし、だからといって意気消沈しているわけではありません。今こそ奮い立ち新たな希望へ歩みださなくてはならないのです。

今だからこそ子ども達の未来を見据え、どう在るべきか考え、「子供たちにツケをまわさない」よう行動を起こすことが必要と考えます。「子供たちにツケをまわさない」=「借金を減らす」と思われがちですが、時には財政出動を行っても必要な投資をし、これ以上地域経済が傾かぬよう、経済という船をしっかりと支え立て直さなくてはならないと思います。「あの時、ちゃんとしてさえいれば今のようにならなかったのに」と子供たちに言われぬように行動すべきと考えます。政治の責任が問われています。「今」が「あの時」にならぬ様に、活力を生み出す原動力となって地域のために今まで以上に働くことが求められていると考えます。

2009年 てつやの役職紹介

- ◎常任委員会・・・文教委員会副委員長
- ◎特別委員会・・・地方分権行財政改革特別委員会副委員長
- ◎決算委員会・・・決算委員会副委員長
- ◎都市計画審議会委員
- ◎埼玉県スポーツ振興審議会委員
- ◎埼玉県ラグビーフットボール協会副会長
- ◎熊谷市バドミントン協会会長
- ◎熊谷ソフトボール連盟副会長
- ◎熊谷市スキー連盟副会長
- ◎熊谷市シニアリトル会長



誠実・公平・実行



【伊佐山悦治さんプロフィール】

大正13年7月熊谷市生まれ 84歳
 埼玉県農業試験場、(社)農林水産技術情報協会(農林水産省の傘下)
 県の公務員を経て、晩年は国の機関に
 出向。熊谷山草会会長、大麻生地区自治
 会会長などを歴任。ライフワークは自然
 の森の再生と環境保護。

ての対談
森の恵み再生に命尽くして半世紀

もうすぐ春本番。森に若葉が芽吹き、鳥のさえずりが響き渡る頃。熊谷市の南西に位置する県営荒川大麻生公園「野鳥の森」。この森に関わり半世紀、自然林の再生に尽くしてきた人がある。今年84歳を迎える伊佐山悦治さんがその人。新しい取り組みも大切ですが、その道の分野で地道に努力を重ねてきた人にこそ、光を当ててみたいと思いました。

日本には土地本来の森は0.06%しか残っていない、全部人間が手を入れて人工的な森にしてしまったもの、これが諸悪の根源であると言います。

くしくも昨年、上田清埼玉県知事は「みどりと川の再生」を公約に掲げ、県は資金を確保するため自動車税収入額の1・5%相当分(年間14億円程度)などを充て「彩の国みどりの基金」を創設しました。平成20年度は「環境160%」を掲げ、環境関連予算を前年度比60%増額の約118億円を計上。今後3年間で約3000ヘクタールの緑の創造などを行う方針を示しています。

小林 昨年、埼玉県は「みどりと川の再生」を打ち上げましたが、伊佐山さんは古くからこの地域で緑の再生に取り組んでいらっしゃる先駆者ですね。

伊佐山 仕事柄ということもありまして、熊谷山草会への入会を強力に勧められ活動を始めました。森林公園にボランティアに行き、ナラ、クヌギの落ちた種を貰い、種場を作り苗木を育て、野鳥の森に植え始めました。自然体として非常に適してる樹木ですから。

小林 熊谷大橋の辺り、野鳥の森一带はその昔、酪農の採草地だとうかがいました。

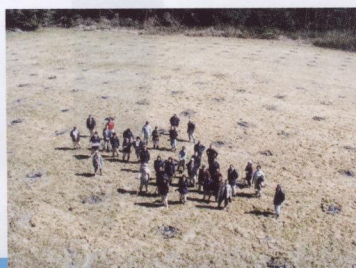
伊佐山 そうですね。ところが氾濫する荒川の洪水を防ぐために植樹せよ、という動きがあったのです。ただ何を植えても構わないというわけでもない。生態系を崩さず、豊かな森を形成させるためにはどうしても人の手が必要なんですよ。

小林 例えば熊谷次郎直実の花として知られる「くまがい草」が今でも自生している地域はありますか。

伊佐山 昭和30年代~50年代にかけて県内の小高い丘陵地の裏山で小川が流れているような環境の所にはそこかしこに群生していました。植物は変化に敏感です。県内で今は江南町の一部と旧大宮市の岩槻よりの大地に自生しています。どちらかという見栄えのよくない「くまがい草」は乱暴に扱われていたのに、今はもてはやされている。なんとも皮肉なものです。

小林 熊谷の「幸安寺」も有名ですよ。

伊佐山 これは、植物というのはどうしたら保存できるかという例なんです、幸安寺の老僧の努力により存続しているのですが、環境にそぐわないと3年から4年で衰退してしまい、定着がむずかしいのです。



植樹後

熊谷県土都市整備事務所の皆さんと山草会の皆さんの野鳥の森の植樹の様子

小林 野鳥の森の植樹活動を始めてどれくらいでしょうか？

伊佐山 そうですね。平成12年頃からでしょうか。山草会のメンバーと種から苗木を作り、野鳥の森に植樹を始めました。植樹には県土木事務所の所長さんを始め皆さんが協力して下さいました。ところが野鳥の森には野鼠がたくさんいて、せっかく植えた苗木をかじられる被害もあり、これまでに3、4回植樹を繰り返すという根気のいる作業ですね。

小林 今でも頻りに野鳥の森にお出かけですか？

伊佐山 少し前までは週に何度も野鳥の森に通いました。立正大学の地球環境科学部の教授陣と調査をし、ここで育ってるもの危険種が20種類以上あることも分かりました。サイハイランもその一つです。生えていること自体が凄いなんです。自然が失くなるのは人害なんです。

小林 観察会も定期的に行われているそうですね。

伊佐山 現在は山草会の岩場さんや太田泰弘先生(熊谷在住の植物分類学者)が面倒を見て下さっています。太田先生は宮脇先生の横浜国立大学時代の先輩に当たります。熊谷には頼もしい方がいらっしゃるんですよ。



伊佐山ご夫妻とご友人の小辻さん(写真左)

小林 その世界ではノーベル賞だといわれる「ブループラネット賞」のを宮脇昭氏(国際生態学センター研究所長、横浜国立大学名誉教授)は世界で一番、植樹をしています、伊佐山さんもまた、そんな宮脇先生に感化され、早くから地域環境緑化に努力を重ねてきた人でした。

いつまでもお元気でいてください。

埼玉県議会「いじめ防止条例」の制定へ

～都道府県では初めて～

ケータイやインターネット掲示板を含め、深刻化するいじめ問題に対応するため、埼玉県自民党県議団(52人)は1月16日、子供のいじめを許さない環境づくりを目的とした「埼玉県いじめ防止(推進)条例」案をまとめました。

素案は、いじめを「子どもが一定の人間関係にあるものから、言葉、文書、暴力等による心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、肉体的、精神的な苦痛を感じるもの」と定義。

条例案は、小・中・高校に通う児童・生徒によるいじめを防ぐために、県、学校、県民、保護者の責務を明記したもの。

学校では、いじめの未然防止と早期発見に努めるだけでなく、防止や対応に必要な組織体制を整備することを求めています。また、県民には地域社会を構成する一員としていじめ防止に取り組み、いじめを発見した場合は速やかに県や市町村などに伝えるように定めています。

文教委員会県外視察で訪れた
岡山県立岡山操山中学校

ヤンキー先生こと
参議院議員の義家弘介氏と



特別委員会
文教委員会副委員長として
真剣に話し合いに取り組み



「いじめを絶対に許さない」の授業

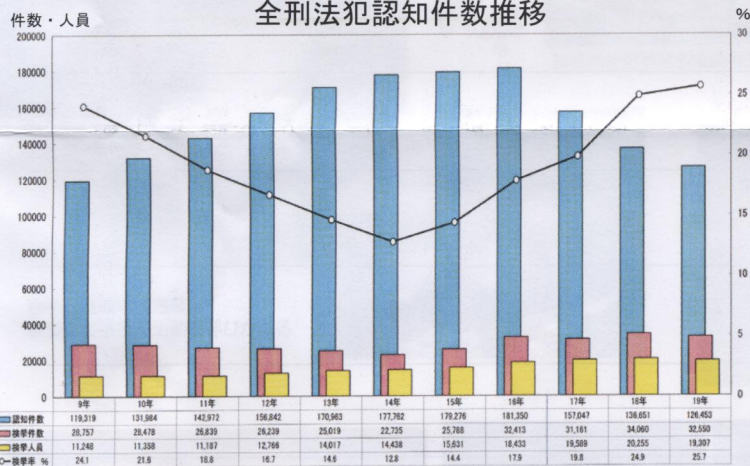


埼玉県防犯のまちづくり推進条例

県民が安全で安心して暮らせるよう犯罪を防止・減少させるための地域環境をつくります。

そして、条例の基本理念である「犯罪を起こさにくい環境の整備」を行い、犯罪を防止・減少させる長期的な取り組みを行うもので、平成21年度はその計画の最終年度となります。

全刑法犯認知件数推移



犯罪が30%減少することによる経済効果は300億円と言われています。

また、街頭犯罪の多くを少年が占めているように、社会的な規範意識の低下が大きな影を落としていることに歯止めをかけていきたいと思ひます。



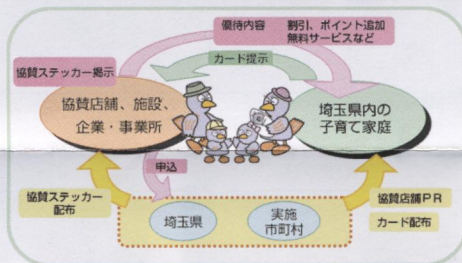
防犯の取組をより強力に展開するため
構成団体は121団体になりました。



キャンペーンにて

パパ・ママ応援ショップ 子育て家庭優待制度

【目的】地域・企業・行政が一体となって子育て家庭を応援しようとするものです。子育て家庭が「地域に支えられているな」「子どもを持って良かった」と実感できる社会作りを目指します！



優待カード表面



カード発行は各市町村役場の窓口にお問合せください。

【ご利用対象者】

- ・中学生までのお子さんをお持ちのご家庭
- ・妊娠中の方がおられるご家庭
- *対象となるご家庭には、市町村から優待カードをお配りします。

・協賛店は8425店舗。㈱埼玉りそな銀行では住宅ローンの金利を1.1%優遇、埼玉縣信用金庫の住宅ローンの金利を1%優遇を利用したとすると、例えば2千万円を30年間のローンを組んだとして通常金利より約600万円も深く計算となります。

他にコンビニ、スーパー、ファーストフード、農業協同組合、塾など。飲食代10%オフやハンバーガーセットの割引もあります。

「スポーツ振興」を規定した 全国初の県条例として注目

議会考07

統一地方選を前に

□1□

地方自治は「民主主義の学校である」と評される。その最前線は言うまでもなく住民代表による地方議会だ。県内では、今春の統一地方選で県議選のほか、全市町村の半数の36市町（人口ベースでは全県の81%）で議員選が行われる。分権が進む中、議会はどう変わってきているのか、旧態依然としたままなのか？ 最近の事例を通し、地方議会を考える。（敬称略）

■議員提案の政策条例 2000
1505年の5年間で最多なのは、宮城県の9件。高知県の6件が続く。宮城県を見ると、「文化芸術振興条例」や「ピンクちらし根絶活動の促進に関する条例」など、予算を伴わない理念的なもののほか、「犯罪被害者支援条例」といった、法律を先取りした条例もある。

議員提案条例

試される政策能力

のまちづくり条例」の意義を熱く語った。
「スポーツをする、見る、学ぶ、支える、極める重要性を訴え、スポーツ日本一の埼玉を目指す」
条例は22日、賛成多数で成立。「スポーツ振興」を規定した全国初の県条例として注目されたが、議員提案の「政

策条例」としても意義があった。「1期目の『卒業前』に議員らしい活動がもう一回できた」。控室で小林は、15人の同期生と固い握手を交わした。
◆ ◆ ◆
議会の議決権を定めた地方自治法96条の筆頭は「条例を設け又は改廃すること」だ。全国都道府県議会議長会に

宮崎栄治郎(52)は「道路などの許認可権は市に移り、県議の訴えるポイントには、治安と教育ぐらい」と語る。一方、熊谷市が地盤の小林は「いわゆる『票になる』道路、橋、信号は、先輩議員がやっていく。導点を訴えないと埋没する」との意識があった。
◆ ◆ ◆
一合会の面々は「また条例を作り、議員の職務を果たしたい」と口をそろえるが、当選回数を重ねるほど、議員条例の限界や有効性への疑問の声が多い。



る。02年の刑法犯の認知件数は18万件弱、検挙率は12.8%と全国最下位。治安への社会的な不安があった。
政治的には、03年夏に自民党出身の知事・土屋義彦(80)が辞職。11月の衆院選では民主党が躍進した。新知事・上田清司(58)の公約の一つは、「安心・安全」。「自民党が存在感を示すには、先に動かさなければ」との危機感があった。個々の選挙事情もある。さいたま市は03年に政令市になったばかり。同市南区選出の

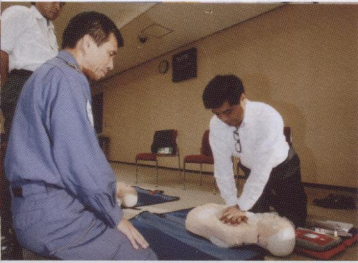
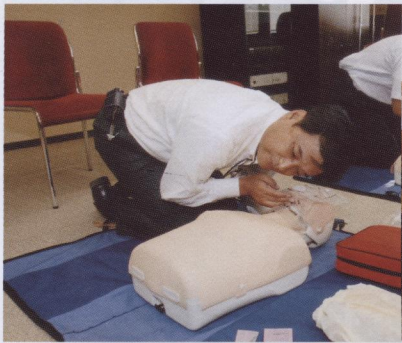
ある中堅議員は「予算提案権のない議会の作った条例は、『絵に描いた餅』だ。理念だけの条例は意味がない」と手厳しい。
ベテラン議員は「防犯条例は、県民の権利を制限しかねず、県民代表の議会の提案の方がよい」と県側は意識した。行政的には、03年夏に自民党出身の知事・土屋義彦(80)が辞職。11月の衆院選では民主党が躍進した。新知事・上田清司(58)の公約の一つは、「安心・安全」。「自民党が存在感を示すには、先に動かさなければ」との危機感があった。個々の選挙事情もある。さいたま市は03年に政令市になったばかり。同市南区選出の

地方自治を問う

サロンドてつや



小林てつやは県民の皆様のために走り続けます！



さいたま市消防本部にて AED講習会に出席 普通救命講習修了



埼玉県ラグビー協会副会長として、花園出場の深谷高校を激励



スポーツで埼玉をもっと元気に！と題して「ブライドリーム埼玉」の発足に向けて！



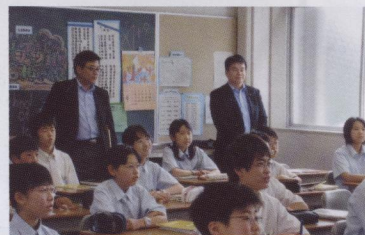
防犯のまちづくりへの推進議員の仲間と共に街頭活動



サッカー振興議員連盟 知事へ要望書提出



いじめを考える授業を参観



信条

子どもにツケをまわさない



岩手・宮城内陸地震被災者支援募金活動を呼びかける



北朝鮮拉致被害者家族救済への訴え



文教委員会県外視察にて 岡山県立岡山揉山中学校



うちわ祭にて 友人たちと



決算特別委員会の病院視察 埼玉県立がんセンター



埼玉県議会自由民主党議員団 研修会・懇談会



参議院議員 山東 昭子氏のバースティパーティにて



狂言師・和泉 元彌氏の母・さち子氏と山東氏のバースティパーティにて



旧古志村長・現衆議院議員の長島忠美氏と

て! のこれから

緑の学校ファーム



埼玉県と埼玉県農業協同組合中央会は、昨年10月、学校ファームの推進と食農教育の振興を内容とした相互連携に関する協定を締結しました。

学校ファームは、児童生徒の農業体験活動を支援することを目的に、学校周辺の農地(休耕田)を活用して小中学校ごとに農園を設置する取組です。県では、今年6月、岡島副知事を議長とする推進会議を立ち上げ全庁的に取り組んでいます。



熊谷市立三尻小学校と熊谷市立籬原小学校の児童たちと鎌倉市の鶴岡八幡宮「鶴の子会」の交流事業
主催は三ヶ尻の八幡神社
「田んぼは気持ちいい〜!」と歓声をあげる子ども達。地産地消の体験学習だね!



土木事業

125号バイパスの4車線化に取り組んでいます!

上田県知事は経済危機に当たり「真水の公共事業」として125号バイパスを1車線から4車線にするために動いています。景気対策で公共事業の額が発表された場合、年度内に実際の需要として発生する部分を真水といいます。早急に取り掛かれるよう奮闘しています。

お知らせ

来る3月4日午前10時より小林てつやが埼玉県議会にて一般質問をします。インターネット中継でぜひご覧ください。

小林てつや・ご意見募集

fax048-532-3177

24時間受付中

<http://www.guts-kobayashi.com>

小林てつや

埼玉県をもっと素敵にしたい。政治をもっと身近にしたい。
こんな思いで熊谷から新しい風を起こすために活動しています。
ご意見、ご要望、メッセージをご記入の上、事務所宛にファックスでお送りください。
